

教育相談だより

発行責任者 大塚晴美

教育相談だより 3号

毎日天候が不安定で思わず空を見上げてしまう今日この頃ですが、皆さんはいかがお過ごしですか？

早い“梅雨入り”にとまどいつつ、更に梅雨入りしてからの天気の良いさ！またまたとまどっています……。

その上、台風の到来予報……（大分はそれでしたか？）なんだか毎日、お天気ばかり気にしながら日々を送っていますが……。草花や自然を相手にしているお仕事の方には、大切な“恵みの雨”でしょうが、平日働く主婦にはちょっと憂鬱な季節です。

皆さんは、どのような時間を過ごしていますか？

1年部 岡 恭子 先生
2年部 岩田 理明 先生
3年部 阿部 敦子 先生
養護教諭 木下 典子 先生
教育相談担当 大塚 晴美

教育相談係

スクールカウンセラーが来校しています！

スクールカウンセラー
面談予約方法

先週より**スクールカウンセラーの安達先生**が来校しています。先生とお話してみたい**生徒**や相談のある**保護者の方**は、以下の要領で、**予約してください**。

予約を受けて、カウンセラーの先生と時間の調整をします。

- ① 面談したい意志(日時の指定も)を**担任**もしくは、**教育相談係**に伝える。
※**生徒がスクールカウンセラーの先生と面談する場合、公欠扱いになります。**
- ② 予約日時の連絡を担任もしくは教育相談担当(大塚)より受ける。

スクールカウンセラー
安達先生の6月の予定
6月6日 ・ 13日 ・ 27日

ちょっとティーフレイク♪ 今回は、ちょっと深層心理に挑戦してみませんか？

あなたのタイプはどれ？ 就寝時に自分を取りやすい体勢をチェックしてください。

- ① 丸まって寝る
- ② 横向きで腕をまっすぐ体に添わせた直立状態で寝る
- ③ 横向きで腕は自由に伸ばして寝る
- ④ うつぶせた状態で寝る

※解答は後日、**職員室前相談箱**横に設置し、次号にも載せます。

スクールカウンセラーの安達先生より～メールが来てるよ～♪

皆さんこんにちは。

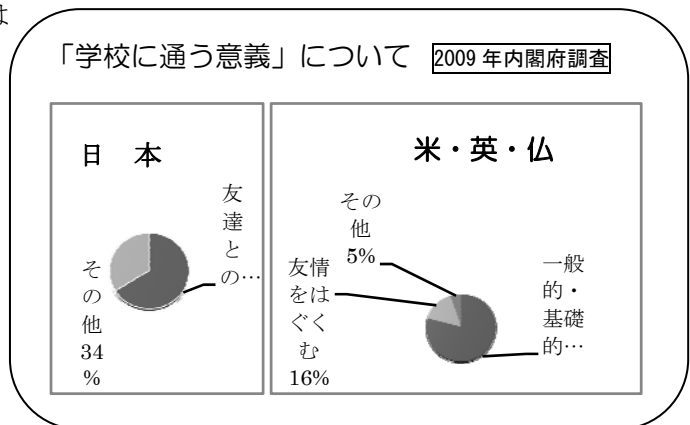
新学期が始まっておよそ2ヶ月、調子はいかがですか？

学校生活がスムーズに送れているかどうかを判断するとき、考慮すべき**三つの要素**があります。それは「友達」、「勉強」、「家庭」の三つです。うまくいっているときは、どれも意識することはありません。しかし、何かにつまずき、どこかがまずくなってくると、全体の調子に影響してきます。そこで、今回は「友達」について考えてみましょう。

まず、視野を広げるために、外国と日本の若者の「学校における友達というものに対する意識」の違いを見てみましょう。

2009年に内閣府が欧米日など5カ国の青年を対象に「学校に通う意義」について調査しました。日本の青年の回答のトップは「友達との友情をはぐくむ」66%となっています。これに対して米・英・仏ともトップは「一般的・基礎的知識を身につける」63%～79%となっています。

ちなみにフランスでは「友情をはぐくむ」は16%の選択しかありませんでした。15歳児に対する別の調査結果でも、(ユニセフ報告加国)学校生活について、日本では、2007年OECD参「居心地が悪い、気詰まりする、孤独感を感じる」と答えた子どもが30%に達していますが、他の24カ国では5%～10%でしかありません。これらの結果から見ると、日本の中・高校生は、学校における友達関係を気にし過ぎているようです。



人は、自分が重視するものによって、考え方が縛られてしまうものです。その結果、それがうまくいかないと自信を無くしたり劣等感を持ってしまったりします。友達関係を重視する人は、友達が少ないと気になります。その人が友達関係を重視する人であれば、気にして悪いことはありません。それがより向上するように努力すればよいことです。しかし、本来自分はそのような環境(日本の若者の意識)のせいで、友達関係がよくないことをくよくよ考えているとしたら、周囲を気にしすぎて自分を見失っていることとなります。何を重視するかは自分自身が決めることであって、他人の考え方は関係ないはずで

友達関係をつくるとかコミュニケーションをとるのが苦手な人は、引け目を感じたりそれを克服するために努力したりする必要はありません。自然に任せ、自分の好きなことや得意なことにエネルギーを使えばよいのです。そうすれば気の合う友達が自ずと見つかるものです。無益な努力から卒業しましょう。